

国際交流基金助成事業報告書

大阪医科薬科大学薬学部 2年 中野 月渚

1. はじめに

2023年8月21日から8月28日まで国際交流基金助成事業の援助を受けて、バンクーバーサマープログラムに参加したことを報告いたします。現地では、英語レッスンを受け、さらにゲストスピーカーのお話を聞いたり、医療施設を訪問したりしました。また、滞在期間はホームステイを行いました。

2. 参加前と今後の目標

研修前の目標は、

- ① 積極性を持って授業に取り組む
- ② 積極的にホストファミリーと会話をする

の2点でした。この目標は、どちらも頑張ることができたと思います。しかし、ホームステイの場面では、自分のスピーキング力の力不足を強く感じました。自分が言いたいことがあっても、それをうまく伝えるための語彙力がなく、自分が伝えたいことが、ホストファミリーに伝わっているかが不安になることが多かったです。ですから、今後はスピーキング力を上げるということを目標にして、英語学習に励みたいと思います。

3. 医療施設の見学、ゲストスピーカーの講演

医療施設の見学は、救急病院、クリニック、薬局、医療通訳サービスのクリニックに訪れました。クリニックでは、実際に使用している器具を見せていただきました。医師は現地で働いている方で、英語での説明だったので、聞き取ることが難しいところもありましたが、丁寧に教えてくださいました。薬局では、実際に調剤しているところを見せていただきました。日本の薬局では、薬が箱にはいつていることが多いですが、カナダでは瓶型の容器に入っていました。

ゲストスピーカーは、現地で働いている看護師と薬剤師の方からお話を聞きました。薬剤師は日本人の方で、その方のお話によると、日本人がカナダで薬剤師になるにはいくつか試験があり、とても難しそうだと感じました。日本との医療制度の違いは多くありましたが、とくに驚いた点が2つあります。1つ目は、カナダ国民は健康保険に入っていれば、医療費は無料ということです。2つ目は、一部の麻薬が合法で認められているということです。この2つに日本との違いを強く感じました。

4. 語学学習

語学学習は、バンクーバーにある、Cornerstone International Community College of Canada (CICCC)に通いました。10人のクラスで、担任の先生がついてくださり、医療に関する英語を学びました。ペア学習やグループ学習をしたり、患者と医者になってロールプレイングを行って発表したりしました。先生は、とても気さくで明るく優しい方で、私たちにわかりやすく英語を教えてくださいました。先生特製のブルーベリーマフィンを作ってきてくださったこともありました。初めて知る医療英語とも触れ合うことができ、とても有意義な時間でした。



5. 交流体験

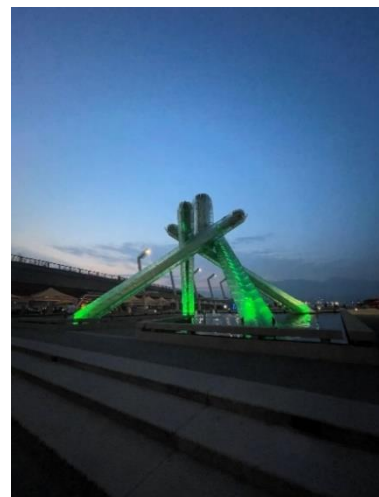
ホームステイはバンクーバーから少し離れた、サレーで滞在しました。学校には、スカイトレインとバスを使用して、1時間半弱かけて通学していました。ホストファミリーはとても気さくに受け入れてくださりました。ホストマザーとファザーは、私が通学で家を出る時間よりかなり早くに家を出て通勤をしていたので、会話をする機会があったのは、夜、家に帰ってからでした。私のつたない英語も聞き取ってくださり、滞在期間にはドライブで、ピースアーチ州立公園やホワイトロックに連れて行ってくださいました。9歳下のホストブラザーもいたのですが、とても優しく、一緒に家で映画を見たり、折り紙で遊んだりして、仲良くすることができ、とても嬉しかったです。食事とても美味しく、初日にはお味噌汁を作ってくださいました。短い期間の滞在だったので、別れがとても悲しかったです。



6. 観光

学校は、3時から3時半の間に終わるため、その後は自由時間でした。ホストファミリーに帰る時間を事前に伝えてから、クラスの人と観光やショッピングに出かけました。訪れた場所は、ガスタウンやスタンレーパークです。ガスタウンには蒸気時計があり、観光客でに

ぎわっていました。また、スタンレーパークではとても自然を感じることができました。パークから見たバンクーバーの景色は絶景でした。スタンレーパークからの帰り道には、バンクーバーオリンピックの聖火灯を見ることができました。



7, 終わりに

短い期間でしたが、日本にいる何倍もの英語と触れあえたことで、自分の力不足をととても感じることができ、より一層英語学習に励もうと思える時間でした。カナダと日本の文化の違い、医療制度の違いも肌で感じることができました。素敵なクラスメイト、先生、ホストファミリーに出会えて、かけがえない大切な経験をさせていただきました。

このプログラムに携わってくださったすべての方々、両親に深く感謝申し上げます。貴重な経験をさせてくださりありがとうございました。